

第 65 回
関西社会学会大会
プログラム

第 1 日 2014 年 5 月 24 日 (土)

第 2 日 2014 年 5 月 25 日 (日)

開催校

富山大学

大会日程概要

<第1日目 5月24日(土)>

- 13:30～ 受付開始
- 14:00～16:30 一般研究報告(自由報告) I
- 16:45～17:30 総会
- 18:00～20:00 懇親会

<第2日目 5月25日(日)>

- 09:00～ 受付開始
- 09:30～12:00 一般研究報告(自由報告) II / 若手企画部会
- 13:00～16:30 シンポジウム

一般研究報告(自由報告)の報告者の方へ、事務局からお願い

- ・報告者は部会開始時間の15分前までに会場に集合して、司会者と打ち合わせをしてください。
- ・1報告あたりの報告時間は25分です。
- ・会場および周辺では配布資料のコピーサービスはできませんので、報告者は40部程度ご用意ください。
- ・報告申込の際に情報機器の使用を希望した報告者の会場には、プロジェクタ他の当該機器が備えられています。パソコンはご自身で持参してください。(ただし開催校でも部会の部屋ごとにWINDOWS7のノートパソコンを用意します。マイクロソフト・オフィスのバージョンは2010です。ご利用の場合はUSBメモリなどを持参してください。)プロジェクタとパソコンを接続するケーブル(Mini D-sub15ピン)は備わっています。Macをご利用の場合はアダプタもお持ち下さい。
- ・機器や接続には故障や不具合が生じる場合があります。万一に備え、機器なしでも滞りなく発表できるようにご準備ください。機器を利用する方は、部会の始まる20分前に報告教室にお集まりいただき、その教室で機器が正常に作動するかを確認してください。

- ・大会奨励賞受賞者は、大会第2日(5月25日)のシンポジウム終了後、シンポジウム会場(C11)で発表します。

参加費用

大会参加費	2,000円
懇親会費	一般 5,000円
	学生 3,000円

本大会では受付での学会費の徴収は行いません。学会費納入のコーナーも設けません。

第1日 5月24日(土)

◆受付開始 13:30 (A22)

研究報告 I 5月24日土曜日午後 14:00~16:30

1. 理論・学説 (E11) 司会：宮本孝二(桃山学院大学)
1. 初期パーソンズの理論に基づく比較社会学的研究 小川晃生 神戸大学
——『社会的行為の構造』における「マーシャル論」に依拠して——
 2. リスクと危険をめぐる帰属コンフリクト 井口暁 京都大学
——ルーマン・リスク論の問題点——
 3. 初期シカゴ学派社会学とフェビアン主義 鎌田大資 梶山女学園大学
——アーネスト・バージェスの博士論文をめぐって——
2. 社会学研究法 (E21) 司会：平英美(滋賀医科大学)
1. P. Norris & R. Inglehart の世俗化論の批判的検討 清水香基 青山学院大学
 2. 社会学界における現代思想の正統化過程 佐々木基裕 京都大学
——共引用分析を用いた定量的分析——
 3. 『ジャック・ローラー』によるライフヒストリーの実践 玉井真理子 関西大学
 4. フレーム分析の使い勝手 中河伸俊 関西大学
——アーヴィング・ゴフマンの遺産目録を吟味する——
3. 家族 (E22) 司会：吉原千賀(高千穂大学)
1. ホーンテッド・マンション 久保田裕之 日本大学
——戸建てシェア活用を阻む家族規範と終わらない親役割——
 2. 生活満足度と幸福感の構造 真鍋一史 青山学院大学
——「Parental Well-being 日独共同調査」のデータ分析——
 3. 社会システムの変動分析に関する試論 新睦人 奈良女子大学
——いわゆる“家族崩壊”論を素材として—— (2)
4. 農山漁村・地域社会 (E31) 司会：藤井勝(神戸大学)
1. 高度成長期以降の伝統文化の継承活動の変化とその意義 木原弘恵 関西学院大学
——岡山県笠岡市白石島の白石踊の継承の事例から——
 2. ローカルヒーローに見る地域社会の変容 長谷川司 関西学院大学
——神話のふるさと・宮崎と『天尊降臨ヒムカイザー』——
 3. 観光産業による地域再生に関するネットワーク論的研究 大橋松貴 滋賀県立大学
——滋賀県長浜市を事例として——

5. 社会福祉・医療Ⅰ：医療と制度（E32） 司会：兼子一（近畿医療福祉大学）
1. 中国農村部における基本医療保険制度の再構築について 徐堯 京都大学
 2. 患者Aのライフストーリーから見た意思決定の変容
——法的概念としてのICと臨床でのIC—— 福本良之 奈良女子大学
 3. 職域メンタルヘルスにおける軽症のうつをめぐる動向
——医療化と脱医療化のはざままで—— 志水洋人 大阪大学
 4. 「特定健診・保健指導制度」の意図せざる効果
——指導現場のインタビュー調査から—— ○古川岳志 大阪大学
山中浩司 大阪大学
6. 社会史・歴史社会学（E33） 司会：永谷健（三重大学）
1. 30年後の「空母隼鷹戦友会」会合
——1981年と2005年の比較—— 溝部明男 金沢大学
 2. 平和研究に関する社会学的一考察
——日本国憲法を事例として—— 山上賢一
 3. コメのゼマンティックの試み
——折口古代民俗学の稲穂儀礼を起点にして—— 碓井崧 金沢大学／三重大学
7. 教育（E41） 司会：稲垣恭子（京都大学）
1. 就職活動過程における自己意識の変容
——大学生のアイデンティティは就職活動を通じてどう変わるのか—— 妹尾麻美 大阪大学
 2. 内閣府ひきこもり調査の検証とひきこもりの規定要因の分析 井出草平 大阪大学
 3. しつけにおける体罰と愛情と
——その“功罪”—— 神原文子 神戸学院大学
8. 文化（E42） 司会：小川伸彦（奈良女子大学）
1. 労働をめぐる「語り」の変容
——あるサラリーマンマンガの分析から—— 鹿島あゆこ 奈良女子大学
 2. 戦後書店空間におけるマンガの文化的正当性と両義性
——「コミックコーナー」の歴史的成立過程を事例に—— 山森宙史 関西学院大学
 3. タレント政治家たちの信頼性
——NHKアーカイブス学術利用トライアル研究を事例に—— 笹部建 関西学院大学
 4. 「住宅文化」の社会学的研究
——文化生産論からのアプローチ—— 松村淳 関西学院大学
9. 社会心理・社会意識（1）（E43） 司会：栗田宣義（甲南大学）
- 第3回高校生調査の計量分析（1）——3時点の変化を中心にして——
1. 第3回高校生調査の概要と保守化の趨勢 友枝敏雄 大阪大学
 2. 高校生の逸脱への憧れと校則意識 平野孝典 大阪大学
 3. 日常生活場面における規範意識と規範行動 ○杉村健太 大阪大学
平野孝典 大阪大学
 4. 高校生の友人関係志向と生活・規範意識 小藪明生 早稲田大学

◆総会 16：45～17：30（C11）

◆懇親会 18：00～20：00（カフェ・アザミ）

第2日 5月25日(日)

◆受付開始 9:00 (A22)

研究報告Ⅱ 5月25日日曜日午前 9:30~12:00

10. 社会心理・社会意識(2) (E43) 司会: 轟亮(金沢大学)

第3回高校生調査の計量分析(2) ——リスクを中心にして——

1. 現代高校生における震災・原発リスクに関する意識の規定構造
阪口祐介 桃山学院大学
2. 高校生の地位達成志向と自己充足志向の変化
○多田隈翔一 大阪大学
友枝敏雄 大阪大学
3. 高校生と職業観と非正規雇用リスク認知
○平松 誠 大阪大学
久保田裕之 日本大学
4. 現代の高校生を脱原発へと向かわせるもの
○樋口耕一 立命館大学
阪口祐介 桃山学院大学

11. 都市 (E21) 司会: 山北輝裕(日本大学)

1. 建築空間の社会学に向けて
——都市社会学におけるアクターネットワーク理論の導入を通して——
山下嗣太 京都大学
2. 観光地化する都市繁華街における共同性
——大阪「新世界」の商店街組織・地域集団の分析から——
八木寛之 大阪市立大学
3. 「封鎖都市」の祝祭性と日常性
——タイ反政府デモ“バンコク・シャットダウン”の事例から——
○中井治郎 龍谷大学
有本尚央 甲南女子大学

12. 組織・社会運動・集合行動 (E22) 司会: 片桐新自(関西大学)

1. 運動参加要因としての心理的コミットメント
——スローフード協会会員を対象としたアンケート
データ分析から——
○宮田尚子 同志社大学
星 敦士 甲南大学
2. 社会運動組織としての家庭
——ライフスタイル運動を通じた政治的社会化の場として——
富永京子 日本学術振興会
(上智大学)
3. 一般交換としての震災ボランティア
——「被災地リレー」仮説の実証分析——
三谷はるよ 大阪大学

13. 社会福祉・医療Ⅱ: 医療と専門的知識 (E32) 司会: 檜田美雄(神戸市看護大学)

1. 出生前診断の是非に関する保育系大学生の意見・考え方
平井正三郎 東大阪大学
2. 現代生殖技術の利用における不可視化するリスク
——周辺の配慮と蓄積する科学知識の影響——
竹田恵子 大阪大学
3. 「認知症」に関して、社会学は何を問うてきたか/問うべきか
——専門的知識と人びとの経験との関係をめぐって——
木下衆 日本学術振興会
(関西大学)

14. 社会福祉・医療 III：医療と生（E33） 司会：本郷正武（和歌山県立医大）
1. 障害者が高等教育へ進む道を拓くために 秋風千恵 大阪市立大学
 2. <自閉症の子を持つ親>であること 末次有加 大阪大学
 3. 生きづらさを表現すること 藤澤三佳 京都造形芸術大学
——語りと絵にみる——
15. ジェンダー・セクシュアリティ（E41） 司会：水野英莉（京都大学）
1. レズビアンの恋愛空間 小田二元子 関西学院大学
——大阪界隈のレズビアンバーから——
 2. 性別役割分業を解消する父親の子育てとは 巽真理子 大阪市立大学
——現代日本の父親の「親の責任」とジェンダー——
 3. 新たなワーク・ライフ・バランス論に向けた理論的検討 小木曾由佳 立命館大学
——領域間の相互関係への着目から——
16. エスニシティ（E42） 司会：宋基燦（立命館大学）
1. 宗教組織における在日韓国人の民族関係 魯ゼウオン 天理大学
——韓国系プロテスタント教会の女性を事例に——
 2. 中国人留学生の友人関係 李文 同志社大学
——「集団」意識とSNS利用——
 3. 大企業における「外国人職業ニッチ」の形成要因と所得への影響 永吉希久子 東北大学
17. 比較社会学・地域研究（E31） 司会：蘭信三（上智大学）
1. ニュースから見た台湾の「人肉搜索」に対する意識 周典芳 慈濟大学
 2. 夜市はいかにして観光地になったのか 藤岡達磨 神戸大学
——在台情報誌におけるイメージの変遷——
 3. 日系企業の海外展開と新たな雇用体系 松谷実のり 京都大学
——駐在員と現地採用者に注目して——

◆若手企画部会（E11） 9：30～12：00

文化労働と労働文化——その緊張関係を問う——

第1報告 高度消費社会と文化生産
——アニメーターを事例として——

司会：雪村まゆみ（関西大学）
雪村まゆみ（関西大学）

第2報告 若い芸術家たちの労働

吉澤弥生（大阪大学）

第3報告 「希望」か現在志向か
——非正規雇用者の生活史より——

益田仁（長崎国際大学）

第4報告 労働空間の文化遺産化
——「明治日本の産業革命遺産群」を事例として——

木村至聖（甲南女子大学）

討論者 前田拓也（神戸学院大学）、渡邊太（大阪国際大学）、小川さやか（立命館大学）

◆シンポジウム（C11） 13：00～16：30

現代日本社会におけるナショナリズムとヘイト／フォビア

基調講演 差別デモとヘイトスピーチの現場から
——いま街頭で何が起きているのか

司会：川端浩平（福島大学）
安田浩一 ジャーナリスト

第1報告 日本における排外主義の規定要因
——同化と排除の共同関係を中心に

金明秀 関西学院大学

第2報告 レイシズムと社会的なものの歴史のために
コメント

宇城輝人 関西大学
板垣竜太 同志社大学

富山大学五福キャンパスへのアクセス

(〒930-8555 富山市五福 3190 番地 代表電話：076-445-6011)

JR 富山駅へ

- 大阪・京都 JR 特急サンダーバード号 (大阪から 3 時間 20 分、京都から 2 時間 50 分)
高速バス (大阪から 5 時間 30 分、富山地铁バス・阪急バス)
- 名古屋 東海道新幹線 (米原乗換) + JR 特急しらさぎ号 (名古屋から 3 時間 15 分)
高速バス (名古屋から 3 時間 45 分、富山地铁バス・名鉄バス)
- 東京 上越新幹線 (越後湯沢乗換) + JR 特急はくたか号 (東京から 3 時間 20 分)
全日空 (羽田から 1 時間) + 空港連絡バス (20 分)

※ 北陸新幹線開通に向けた富山駅舎の改築工事のため、乗り換えには時間的余裕をみてください。

JR 富山駅から富山大学五福キャンパスへ

- 市内電車 (路面電車) 「大学前」行き 乗車約 15 分 (約 10 分ごとに運行) 終点「大学前」下車
- 路線バス (富山地铁) 「富山大学経由」(3 番のりば) 乗車約 15 分「富山大学前」バス停下車すぐ

富山大学五福キャンパス 大会開催施設

- 大会会場 「共通教育棟」(下図①) 受付は 2 階「A22」教室
- 懇親会会場 「カフェアザミ」(下図②)



②学生支援・地域連携交流プラザ ③保健管理センター ④経済学部 ⑦理学部 ⑨人間発達科学部 ⑫黒田講堂